

入賞者35個人
12団体を表彰

村民の力作そろそろ 第22回 村総合文化祭

十一月十日、十一日の両日、第二十二回村総合文化祭が村社会体育館を主会場に開催されました。会場には丹精込めて作った農林水産物や文芸作品八百五十八点を展示。会場産品の即売、ふれあいバザー、サケの直送便のPR、友好町村秋田県琴丘町

産業部門

農林産物の部 金賞 畠山春松(ホウレンソウ) 〓新しいわて農業・農村創造運動推進協議会長賞(特別賞) 佐々木貢(ニンジン) 〓同(同) 銀賞 正路正敏(生シイタケ) 〓久慈地方農業・農村活性化推進協議会長賞(特別賞) 新屋ナツ(ホウレンソウ) 〓村農業改良普及協議会長賞(同) 深渡喜代(短形大根) 〓落合三千代(白菜) 坂本幸子(パレイシヨ) 銅賞 新田アキ(ホウレンソウ) 坂本孝幸(ニンジン) 畠山春松(大根)・(キャベツ) 山下ユキ(白菜) 山下清(さといも)

下川キヨ(春菊) 野口幹夫(ハイブリット・ユリ) 水産物の部 金賞 太田武志(塩蔵ワカメ) 〓久慈地域「海の幸」PR協議会長賞(特別賞) 太田保正(天然干し昆布) 銀賞 アンモ浦漁場(新巻ぎザケ) からはし漁場(同) 太田キミ(マツモ) 銅賞 自営定置(干しサバ) 平磯漁場(新巻ぎザケ) 太田文吾(昆布) 秋沼の鼻漁場(スルメ) 須田トモエ(マツモ) 前川トキ(ひじき) 郷土料理の部 奨励賞 佐々木孝子(シイタケ鮭詰め焼き) 〓久慈地方農業・農村活性化推進協議会長賞(特別賞) アイデア賞 太田名部漁協婦人部(洋風炊き込み御飯) 〓村農業改良普及協議会長賞(特別賞) 金名部すの子(サケとひじきの炒め詰) ドリーム賞 堀内漁協婦人部(鮭いっパイ) 太田名部漁協婦人部(ワカメの中芯の佃煮) ひまわりグループ(サケ炊き込みピラフ)

文化部

の特産品の販売などに大勢の人々が訪れ、にぎわいました。十一日には、自然休養村管理センターで舞台発表が行われ、各小中学校、コーラス団体の歌や劇など、日ごろの活動の成果を披露しました。展示された作品は各部門ごとに審査が行われ、三十五個人、十二団体が表彰されました。入賞者は次のとおりです。

村教育長賞 熊谷元三(天)



消防団員・加入促進も兼ねて行われたもちまき(4日の最終日)

秋「鮭の日」PR昼食会

「県の魚」である秋サケは、水揚げ量が多く、本村のもっとも重要な水産物で栄養価にも優れていて、魚食の普及と消費拡大を目指し、全県的に学校給食利用促進事業が展開されています。村でも、育ち盛りの将来を担う児童・生徒に秋サケを食べてもらい、県の魚として理解を深めてもらおうと、村内各小中学校の学校給食メニューに秋サケを取り入れた。鮭の日を本年度も実施しました。

PR昼食会は「鮭の日」にちなんで十一月九日に行われ、村から坂下洋一助役、新沼敏哉教育長ら五人、村議会からは熊谷聡議長ほか四人、各小中学校のPTA会長、漁業関係からは二十人の参加をいただき、さらには久慈教育事務所の中村進



1年生の児童たちもサケは大好きです

次長、久慈地方振興局水産部大野宜和主任そして、育ち盛りの体に栄養満点の給食献立を考えてくださっている学校栄養士の宇部順子さんにも出席いただきました。参加くださった方々は、それぞれ各教室を訪れ児童・生徒たちと楽しい一時を過ごし、最後に「鮭の雄雌当てクイズ」を行いました。ほぼ全員が正解でしたので、水産部の大野主任は「さすが海で育った子どもたちだねえ」としきりに感心していました。本日の「鮭の日」給食メニューは、五目大豆、なめこ汁ご飯、そして「鮭の南部揚げ」とみかんでした。鮭の南部揚げは、大変好評でサケのおいしさを再発見した昼食会でした。